

## 平和学習

沖縄県立名護特別支援学校 中学部一年

玉城 有紀

中学生になって初めての平和学習がありました。国語の時間では、「歌を通して平和を考えてみよう」ということで『月桃』と『さとうきび畑』を歌い、歌の意味を学習しました。

これまでも、慰霊の日になると必ず、『月桃』を歌ってきました。みんなで平和を願う気持ちで歌ってきました。でも、今度の平和学習で『月桃』への気持ちが変わりました。とても悲しい歌だと思いました。戦争で亡くなった人たちの気持ち、戦争をしないでほしいという思いが、『月桃』の歌調からひしひしと伝わってきました。まぶにの丘やきゃん岬の話も聞きました。まだ行っていたことがないので、今年の慰霊の日には行ってみたいと思います。『さとうきび畑』の歌は聴いたことはありませんでしたが、最後までじっくり聴いたことはありませんでした。国語の時間では、歌の意味を学習しただけで歌う時間はありませんでした。先生が次の時間に歌うと言っていました。私は待ちきれませんでした。

その日、私は学童に行きました。どうしても、『さとうきび畑』の歌が歌いたかったので、学童の先生にお願いして聴かせてもらいました。「お父さんと呼んでみたい、お父さんどこにいるの」という歌調を聴いた時、涙が止まりませんでした。私と同じくらいの女の子が、お父さんを一生けんめいさがしているすがたをそうぞうすると、おねがいたくなりしました。戦争で親を亡くした子どもたちの数は数えきれないほどたくさんいたと聞きました。そして、もう一度パソコンで、きゃん岬やまぶにの丘の写真を見ました。写真で見るきゃん岬とまぶにの丘は、とてもきれいな所でした。ここで、たくさんの人たちが死んでいったなんて信じられませんでした。でも、戦争

はあったのです。この美しい沖縄でおそろしい戦争があったのです。そのことを忘れないために、平和学習があるのだということがわかりました。慰霊の日が近づくと、『月桃』や『さとうきび畑』を歌うのだということもわかりました。これまでも、この二曲の歌は好きで歌っていましたが、これからはこの歌に込められたメッセージを大切にしながら歌っていきたいと思いました。

「香れよ 香れ 月桃の花、永久に咲く身の  
花心、変わらぬ命、変わらぬ心、ふるさとの  
夏」とあるように私も沖縄の心をしっかりと受け継ぎ、戦争のない平和な世界をつくっていききたいと思います。